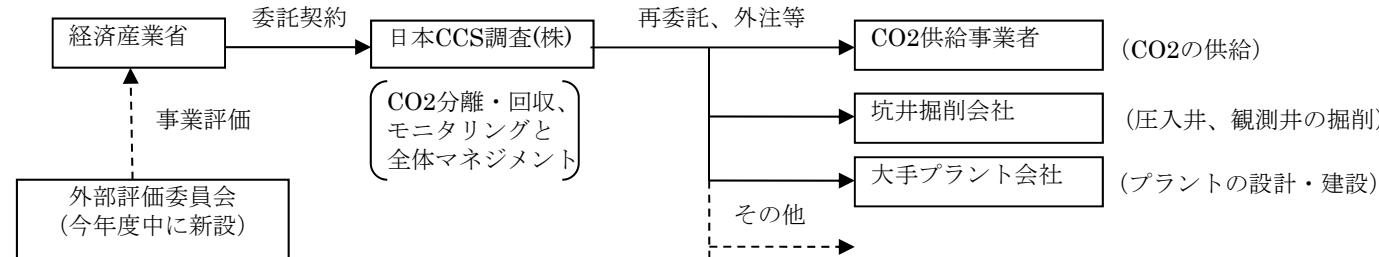


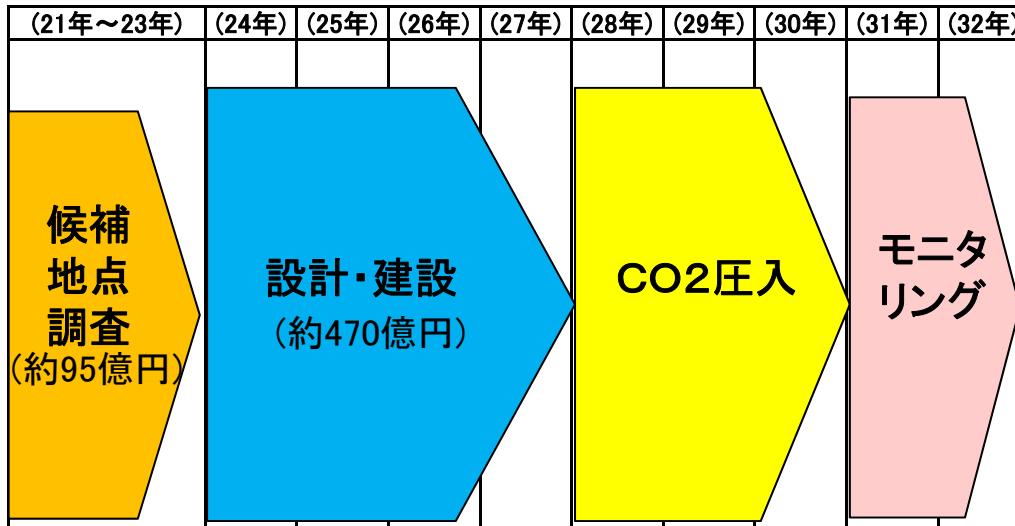
気候変動問題対策二酸化炭素削減技術実証試験について

- ◆名称 気候変動問題対策二酸化炭素削減技術実証試験
- ◆実施期間 開始年度:平成21年度(2009年度) ~ 終了年度:平成32年度(2020年度)
- ◆目的 地球温暖化対策としての二酸化炭素回収・貯留(CCS)技術について、実施に必要な技術を実証し、我が国における実用化に資する。
- ◆予算額 約 565 億円 (平成21 ~ 平成27年度の事業費総額)
※ 平成28年度以降のCO2圧入・貯留・モニタリングに要する経費については、現時点では精査中

◆実施推進体制 (設計・建設段階)



実証試験スケジュール



苦小牧実証試験地点



二酸化炭素回収・貯留(CCS)の一連の流れと仕組み

CCSとは、火力発電所や工場などで排出されるCO₂(Carbon dioxide)を大気中に放散する前に捕らえて(Capture)、地中に貯留する(Storage)技術

